

# 回覧

## たかくまだより

R7.8.20 第15号 高塚熊野神社



ヤタカラ君

FMHaro  
「たかくまだより」  
第4木曜 17:35～  
第13回放送



### 舞姫さん募集

10月の例大祭(11・12日)で、お神楽を奉納しませんか

1. 条件：高塚町在住もしくは町内出身のお子様(女の子)で、小中学生(高校生も可)。定員 6～8名。
  2. 練習＝9月から。回数未定。
- 社務所までお申し込みください。☎ 053-448-2288



空撮した今の社殿の瓦屋根

## 大公開！屋根改修事業がめざす来年秋の完成予想図

本誌第14号でお知らせした、神社社殿の瓦屋根を軽い金属製の屋根に葺き替える改修事業について、工事完了後のイメージ図が作られました。工事完成は来年の秋。後方の社殿は屋根の向きを変えると同時に、白と朱の美しい姿になります。



7月下旬、改修事業実行委員会が開催され、予算や今後の事業の進め方が議論されました。



高塚南・北子ども会共催

### 神様散えて

今回は、稲垣陽斗くん(当時小学1年生)からの質問です。



やまんぼ

Q 神様っておじいさんのイメージだけど、おばあさんはいるの??

そもそも神様は「年齢」を持たない、時間を超えた存在です。しかも神道の神々には肖像がありません。それでも昔話や伝説、地方独自の信仰の中で、高齢の姿のイメージとして語られる女性神はおられます。

例えば「山姥」。一部の地方では老女の姿をした山の神として信仰されています。東北地方で有名な「おしら様」も、神となった女性の霊として、老女の姿で描かれることがあります。富山県の民間信仰である「うば尊」は、女性の守り本尊とされています。

しいて日本神話の中で言えば、神々の母だからおばあさん、という意味では「伊弉那美命」は日本の国土や多くの神々を生んだ「最年長者」と言えますでしょうか。



### トピックス

7月の「四季の祓の会」は車座でフリートーク。



毎回、戸塚宮司のエネルギーが好評の「四季の祓の会」ですが、第50回目となる7月の会は酷暑のため参加者が激減。そこで今回は趣向を変え、初めて車座に座っての「宮司さんとのフリートーク」という形での開催となりました。「皆さん、どんな不安をお持ちですか」という宮司さんの問いかけに、参加者からは様々な思いが寄せられました。次回開催は10月25日(土)午後6時を予定しています。